

諏訪之瀬島の火山活動 - 2014年10月～2015年1月 -
Volcanic Activity of Suwanosejima Volcano
- October 2014 – January 2015 -

福岡管区气象台 火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台
Fukuoka Regional Headquarters, JMA
Kagoshima Meteorological Office, JMA

・噴煙などの表面現象の状況(第1図、第3図- 、第7～10図)

御岳(おたけ)火口では、爆発的噴火が2014年12月に5回、2015年1月に4回発生した。爆発的噴火に伴う空振の最大振幅は、12月7日19時12分に観測した54Paであった(火口から南南西約4kmの榑戸原観測点による)。

噴煙の高さ¹⁾の最高は、火口縁上1,200mであった。また、同火口では夜間に高感度カメラで火映を時々観測した。

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、期間中、集落(御岳の南南西約4km)で時々降灰が確認された。

2015年1月25日に実施した御岳火口の現地調査では、前回(2012年11月8日)と比較して、御岳火口内の南東側に火孔が開孔していた。文化火口は前回(2012年11月8日)と比較して火口内の形状等に特段の変化はなかった。赤外熱映像装置による観測で熱異常域に特段の変化はなかった。

爆発的噴火が2015年2月1日～15日(期間外)までに12回発生した。噴煙の高さの最高は、2月12日09時47分の爆発的噴火に伴う火口縁上1,500mであった。

2月(期間外)は火山性微動がやや増加した。

・地震や微動の発生状況(第3図- ~ ~、第4～5図、第10図)

諏訪之瀬島周辺を震源とするA型地震は、2014年10月は38回、11月は52回、12月は13回、2015年1月は14回、とやや減少した。B型地震は、2014年10月に65回、11月に217回、12月に71回、2015年1月に110回、とやや多い状態であった。

火山性微動は、断続的に発生した。

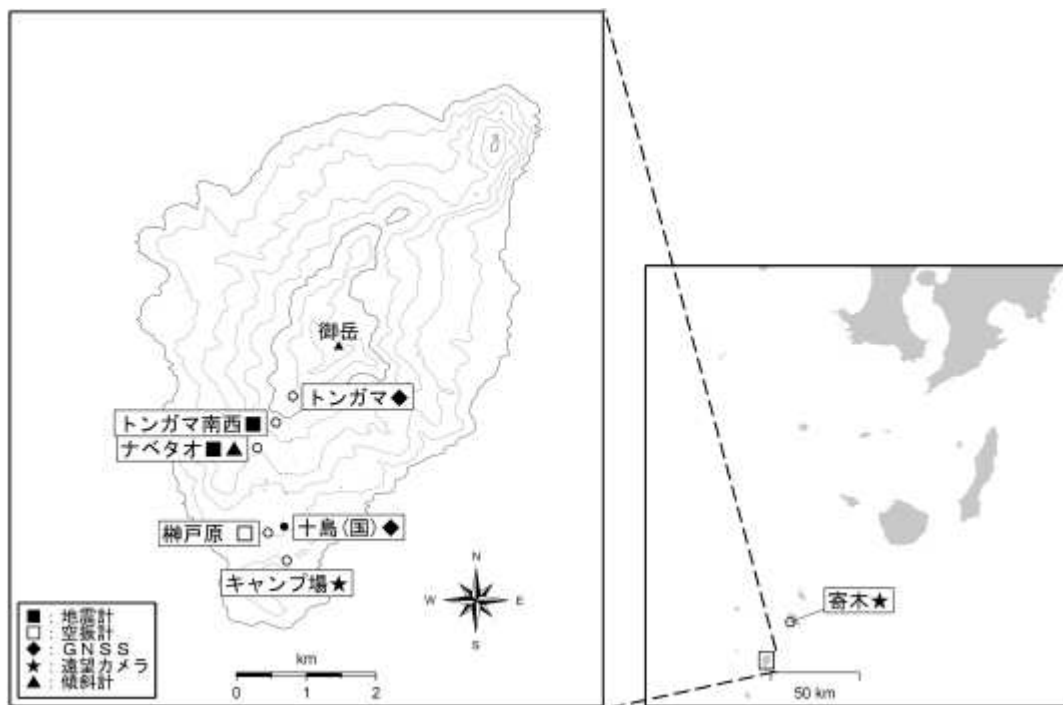
・地殻変動の状況(第6図)

傾斜計の観測では、火山活動によると考えられる変化は認められなかった。

1) 2003年3月28日以降、噴煙の最高高度は監視カメラによる観測値と十島村役場諏訪之瀬島出張所の報告値のうち高い値を用いている。



第1図 諏訪之瀬島 噴火の状況 (2014年12月7日、寄木カメラによる)
Fig.1 Visible image of Suwanosejima (December 7, 2014).

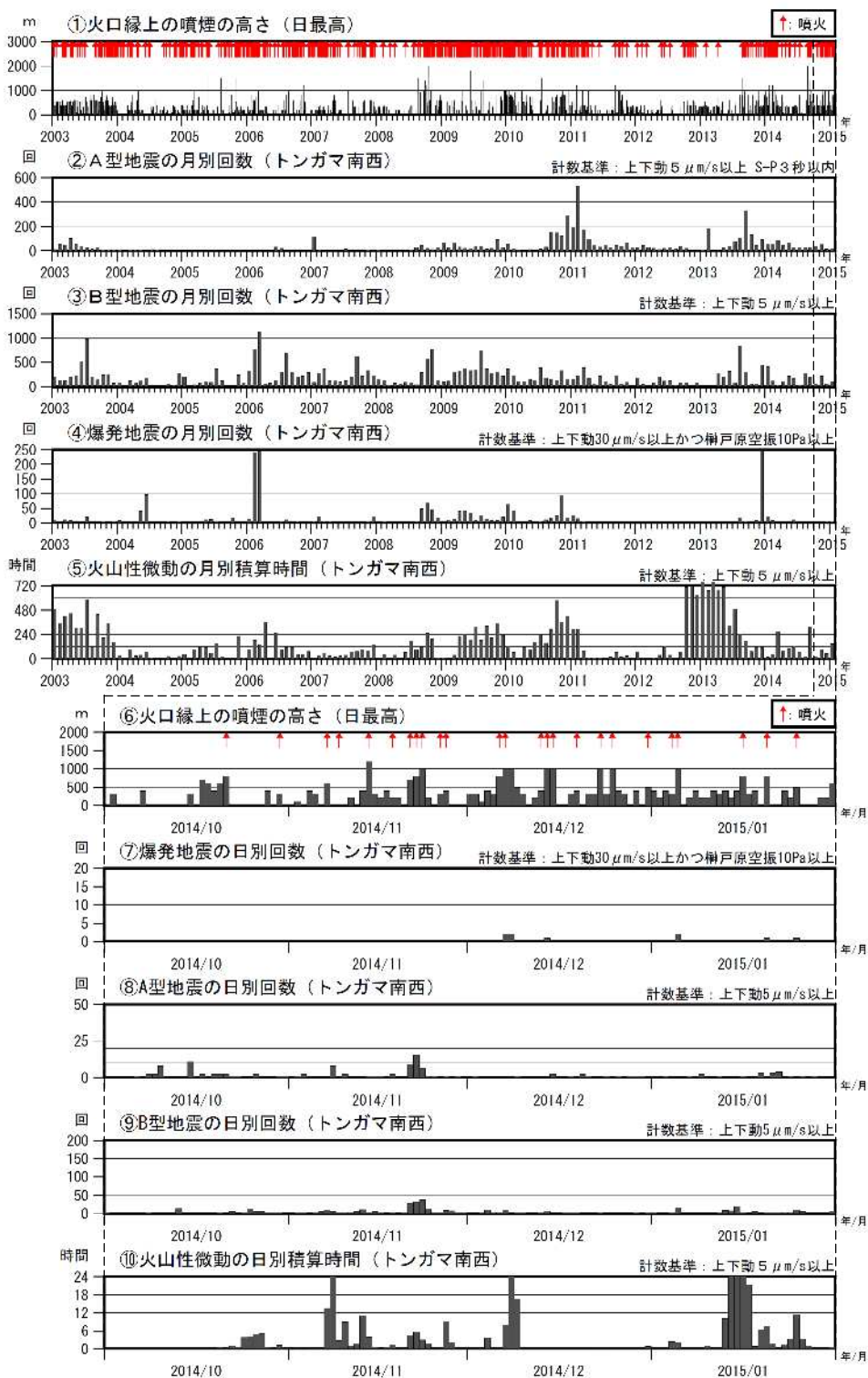


第2図 諏訪之瀬島 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示す。
(国)：国土地理院

この地図の作成には、国土地理院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用した。

Fig.2 Location map of permanent observation sites in Suwanosejima.



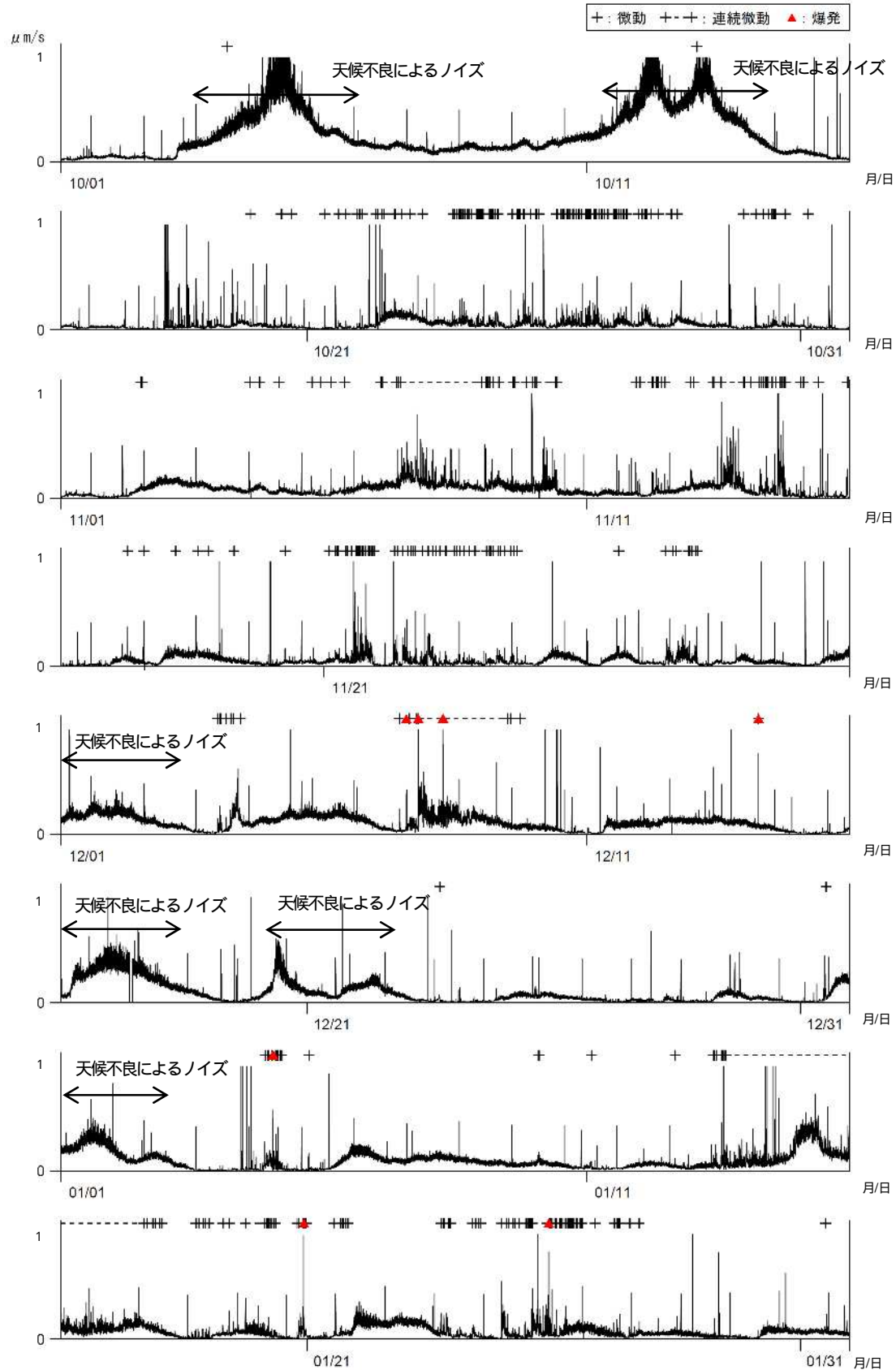
第3図 諏訪之瀬島 火山活動経過図 (2003年1月1日~2015年1月31日)

長期にわたり噴火を繰り返している。

<2014年10月1日~2015年1月31日の状況>

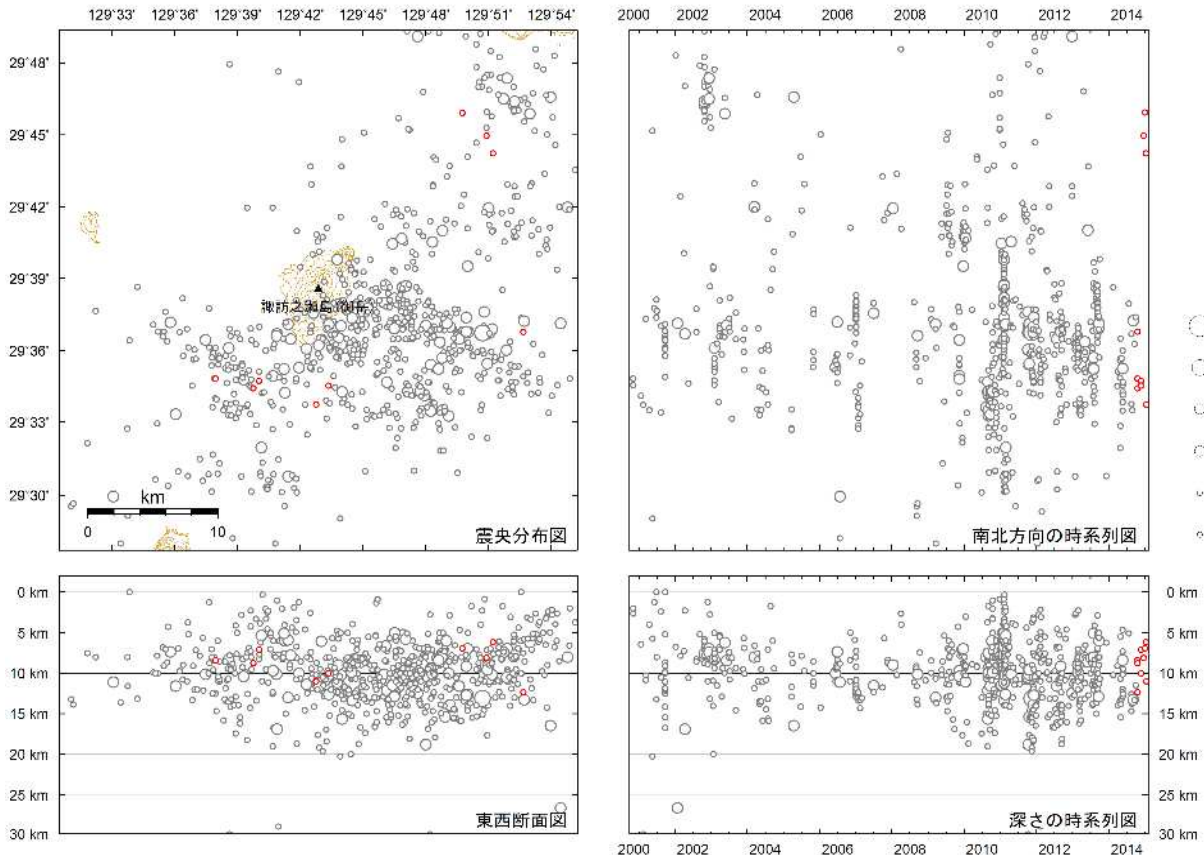
- ・爆発的噴火が2014年12月に5回、2015年1月に4回発生した。
- ・噴煙の高さの最高は、火口縁上1,200mであった。
- ・諏訪之瀬島周辺を震源とするA型地震は、2014年10月は38回、11月は52回、12月は13回、2015年1月は14回、とやや減少した。
- ・B型地震は、2014年10月に65回、11月に217回、12月に66回、2015年1月に110回、とやや多い状態であった。
- ・火山性微動は、断続的に発生した。

Fig.3 Volcanic activity in Suwanosejima (January 1, 2003 – January 31, 2015).



第4図 諏訪之瀬島 1分間平均振幅の時間変化(ナベタオ上下成分)(2014年10月1日~2015年1月31日)
 <2014年10月~2015年1月の状況>
 火山性微動は、断続的に発生した。

Fig.4 Variation of mean seismic amplitude for one minute (October 1, 2014 – January 31, 2015).

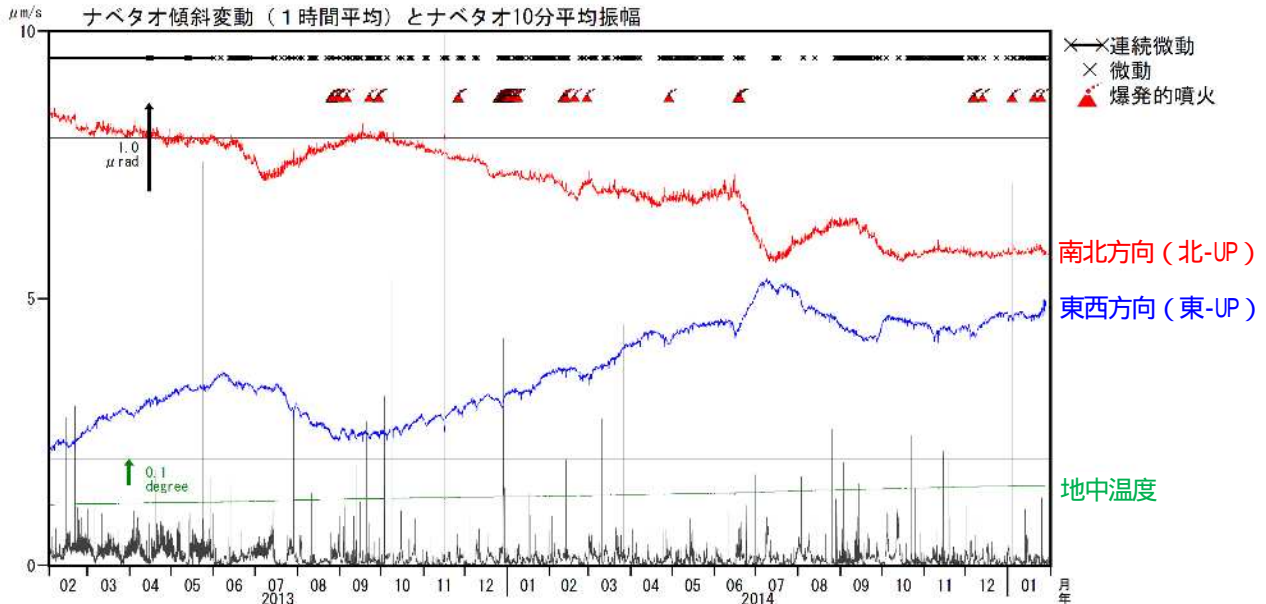


- : 2014年10月1日~2015年1月31日の震源
- : 2014年10月1日~2015年1月31日の震源(深部低周波)
- : 2000年10月1日~2014年9月30日の震源
- : 2000年10月1日~2014年9月30日の震源(深部低周波)

第5図 諏訪之瀬島 一元化震源による震源分布図(2000年10月1日~2015年1月31日)

この地図の作成には、国土地理院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用した。

Fig.5 Hypocenter distribution in and around Suwanosejima (October 1, 2000 – January 31, 2015).



第6図 諏訪之瀬島 ナベタオ傾斜計の変化(2013年2月1日~2015年1月31日)(時間値、潮汐補正済)

<2014年10月1日~2015年1月31日の状況>

火山活動によると考えられる変化は認められなかった。

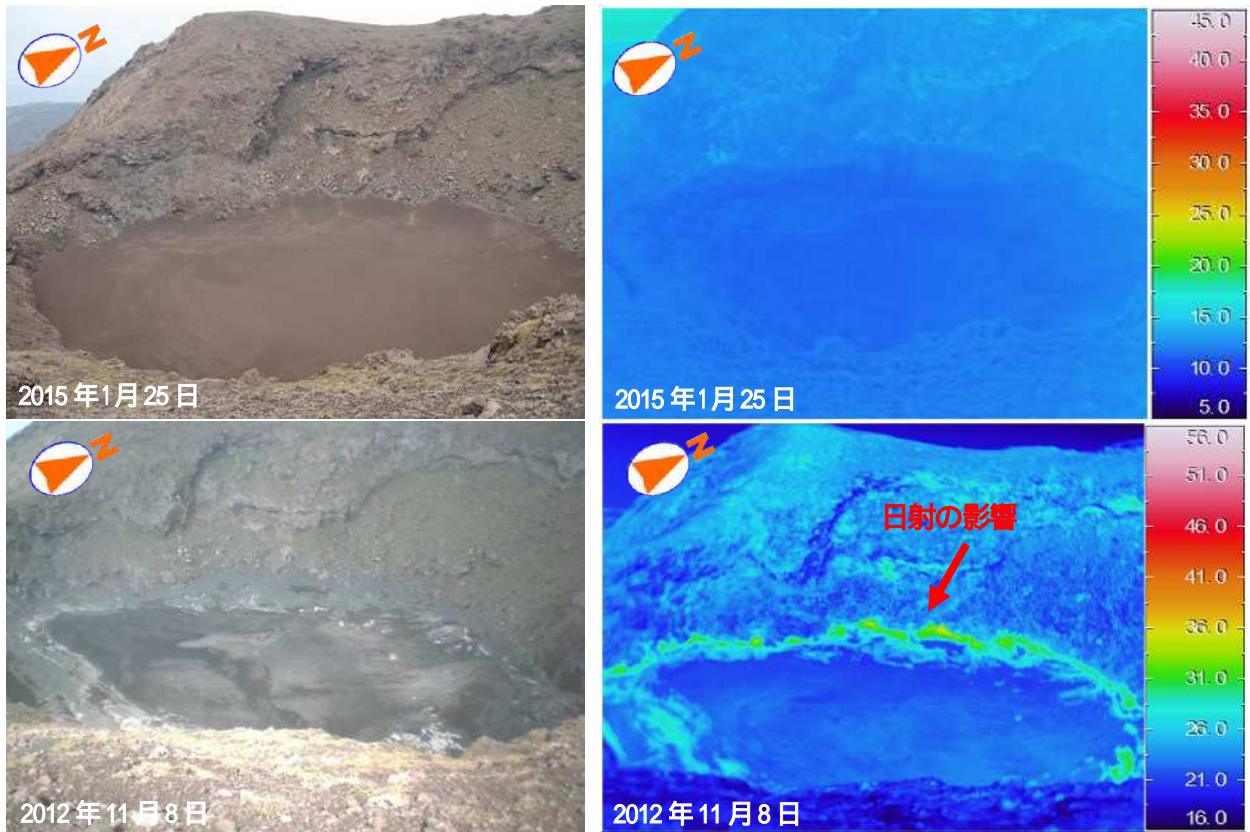
Fig.6 Tilt change in Nabetao station (February 1, 2013 – January 31, 2015).



第7図 諏訪之瀬島 御岳火口の状況

2015年1月25日に実施した現地調査では前回(2012年11月8日)と比較して、御岳火口内の南東側に火孔が開いていた(赤破線)。

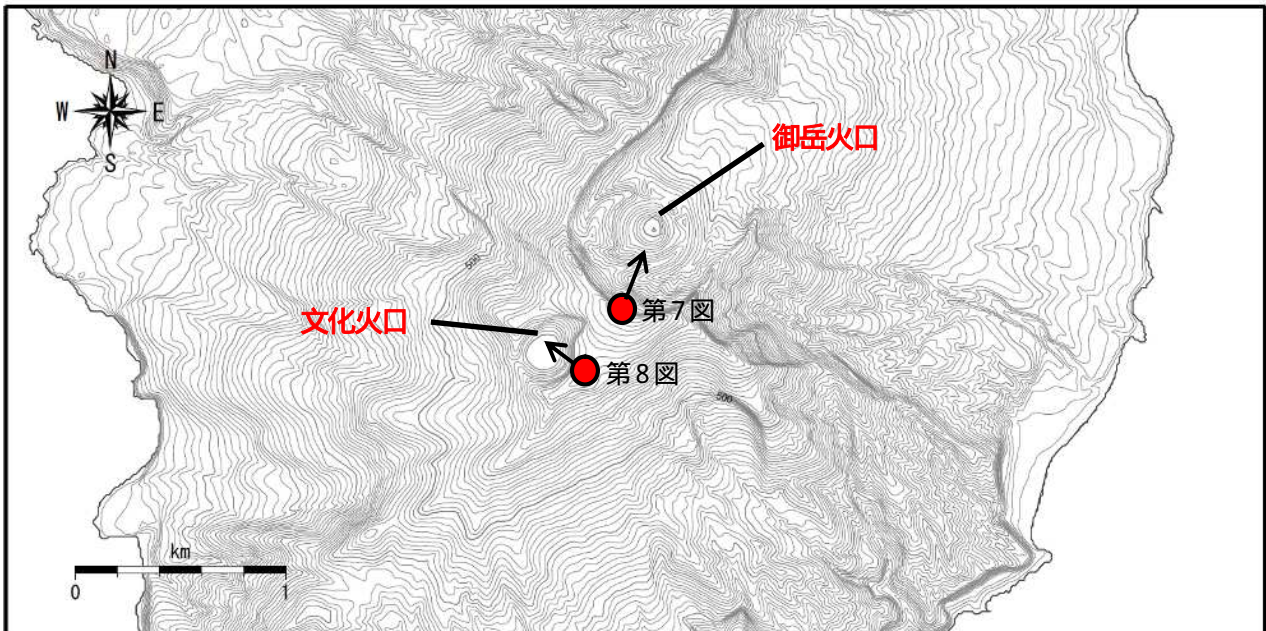
Fig.7 Visible images of Suwanosejima.



第8図 諏訪之瀬島 文化火口の状況（左）と赤外熱映像（右）

2015年1月25日に実施した現地調査では前回（2012年11月8日）と比較して火口内の形状等に特段の変化はなかった。赤外熱映像装置による観測で熱異常域に特段の変化はなかった。

Fig.8 Visible and thermal images of Suwanosejima.

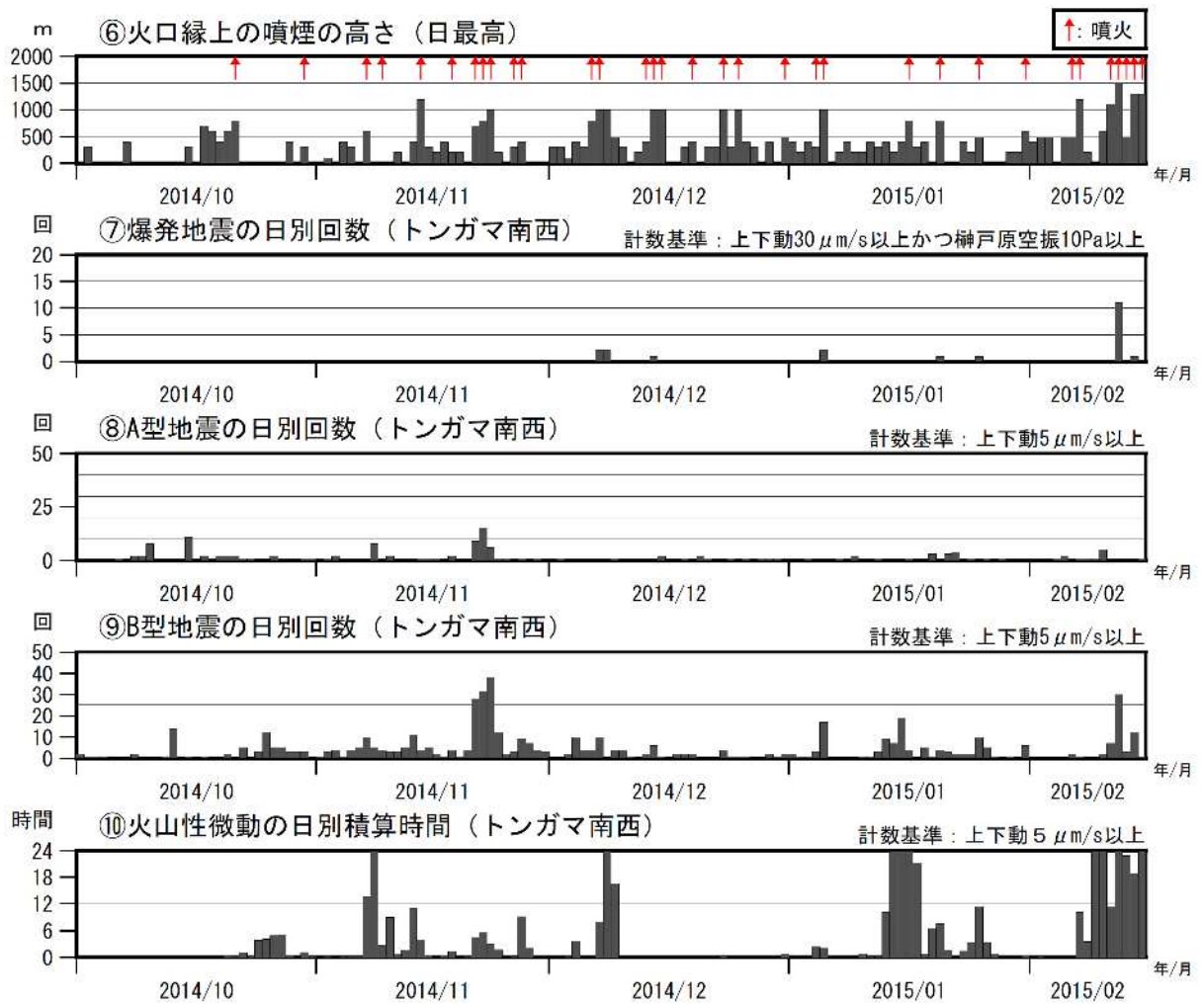


第9図 諏訪之瀬島 御岳火口および文化火口の調査観測点と撮影方向

赤丸は観測位置を示す。矢印は撮影方向を示す。

この地図の作成には、国土地理院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用した。

Fig.9 Topographic map of Suwanosejima. Red circles indicate visible and thermal observation points.



第10図 諏訪之瀬島 火山活動経過図（2014年10月1日～2015年2月15日）

<2015年2月1日～2015年2月15日の状況>

- ・爆発的噴火が2015年2月15日までに12回発生した。
- ・噴煙の高さの最高は、2月12日09時47分の爆発的噴火に伴う火口縁上1,500mであった。
- ・2月は火山性微動がやや増加した。

Fig.10 Volcanic activity in Suwanosejima (October 1, 2014 – February 15, 2015).